

## マンション基礎の液状化対策に採用された — C P G工法 —



マンションの新築工事に伴い、厚く堆積している緩い砂層の液状化対策が必要となりました。

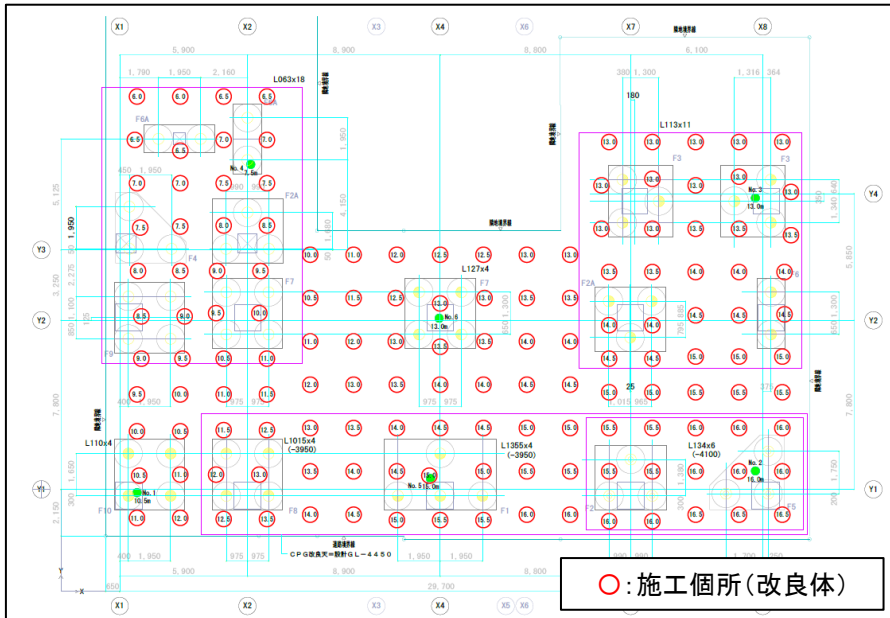
施工箇所が狭隘で既設の建物が近接していることから、機械がコンパクトで低騒音・低振動でモルタルを圧入できるコンパクショングラウチング工法（C P G工法）が採用されました。

既設構造物に悪影響を与えることなく、所定の液状化抵抗率を達成することができ、施工性と品質について高い評価を得ることができました。

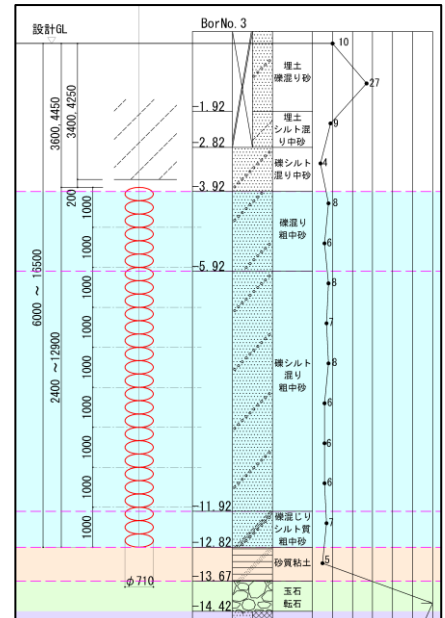
施 工 数 量	
施 工 本 数	143 本
注 入 量	3,844 L/本
総 削 孔 長	1,800.50 m
総 注 入 長	1,238.10 m
総 注 入 量	549,740 m <sup>3</sup>



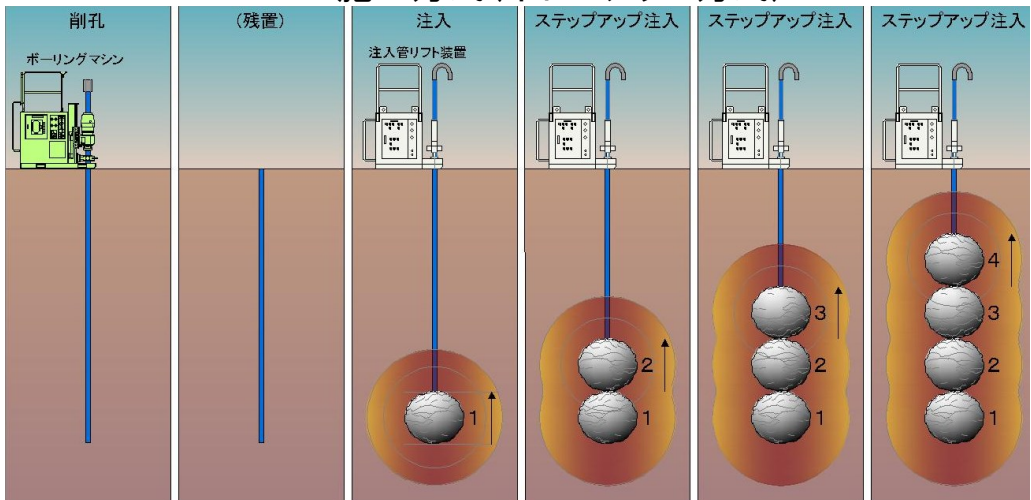
平面図



断面図



CPG施工方式(ボトムアップ方式)



削孔状況



注入状況

